

あゆみの福

~ 4
681



門利4
 跡 687
 卷



明治三十二年十一月五日

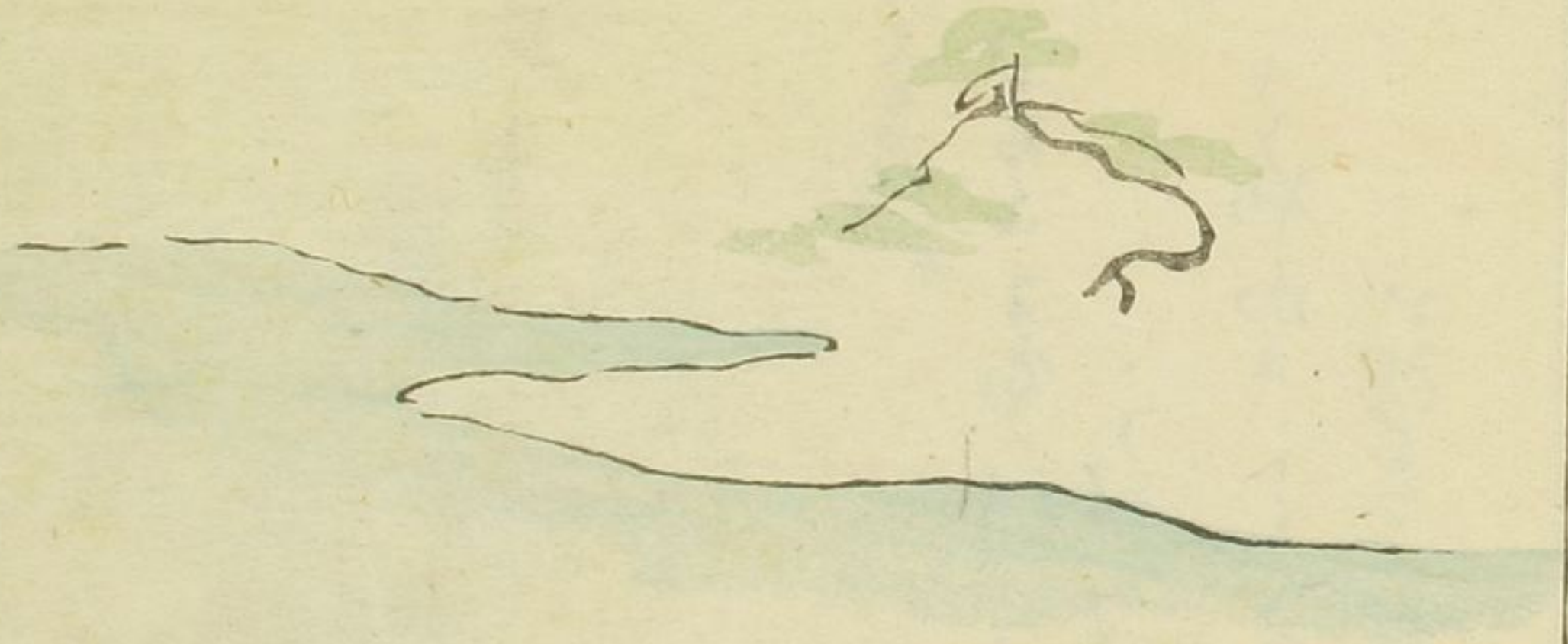
坪内存成氏寄贈

冬道

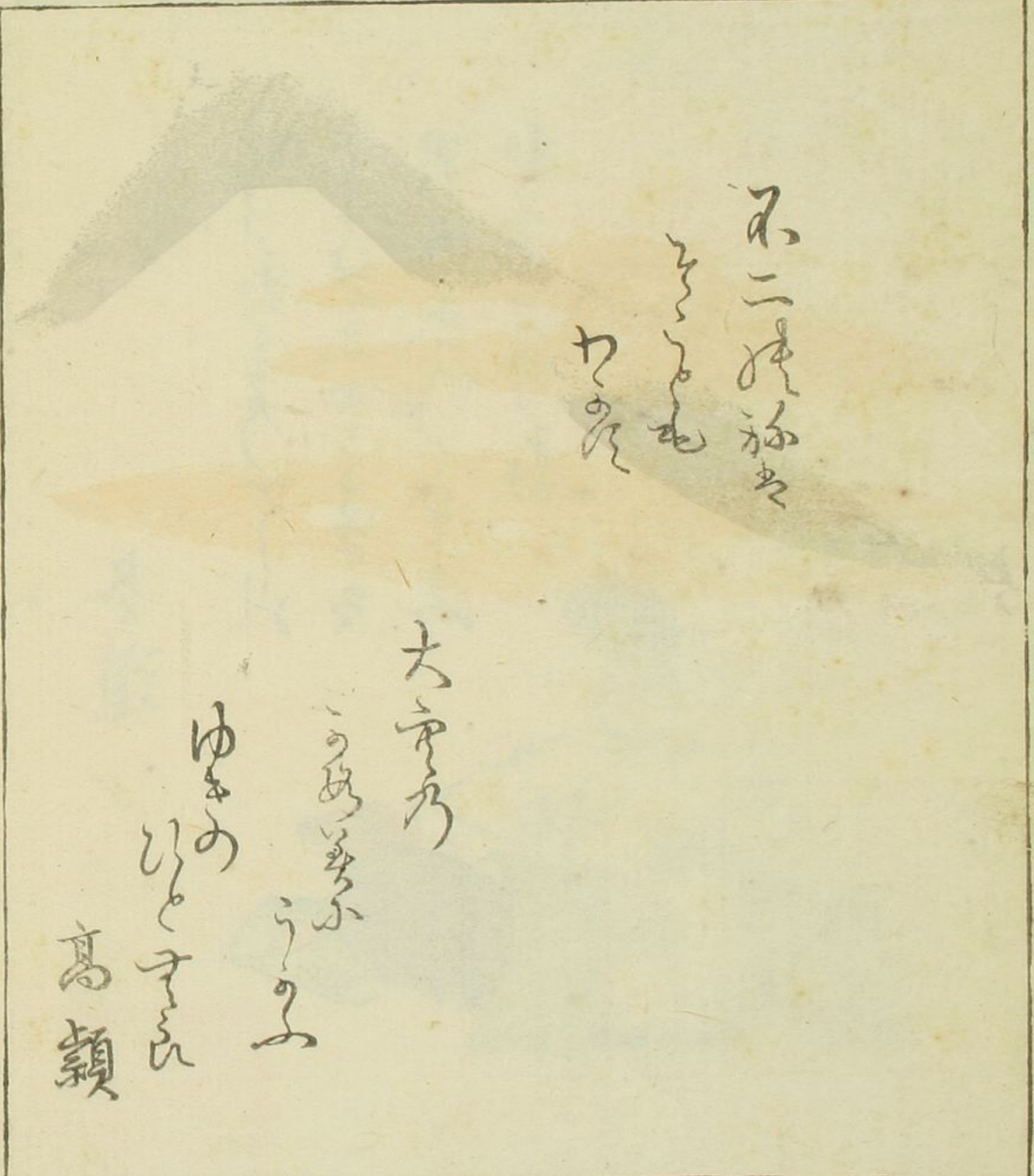
何々たまたまこれ
 こそ知ふかゝる事
 君のま代とてま
 かまはしき



妹のこむ
とつた
ゆるひ
まきぬ
あせたる



うぬ美
あま汁
李
俊民



不二神祇
ゆるむ
わら

大寺
うぬ美
ゆるむ
ゆるむ
高頼



梅の枝を
 折るは
 春の
 来り
 ぬ

生
 成



月夜
 の
 静けさ

静けさ

静けさ

静けさ

静けさ

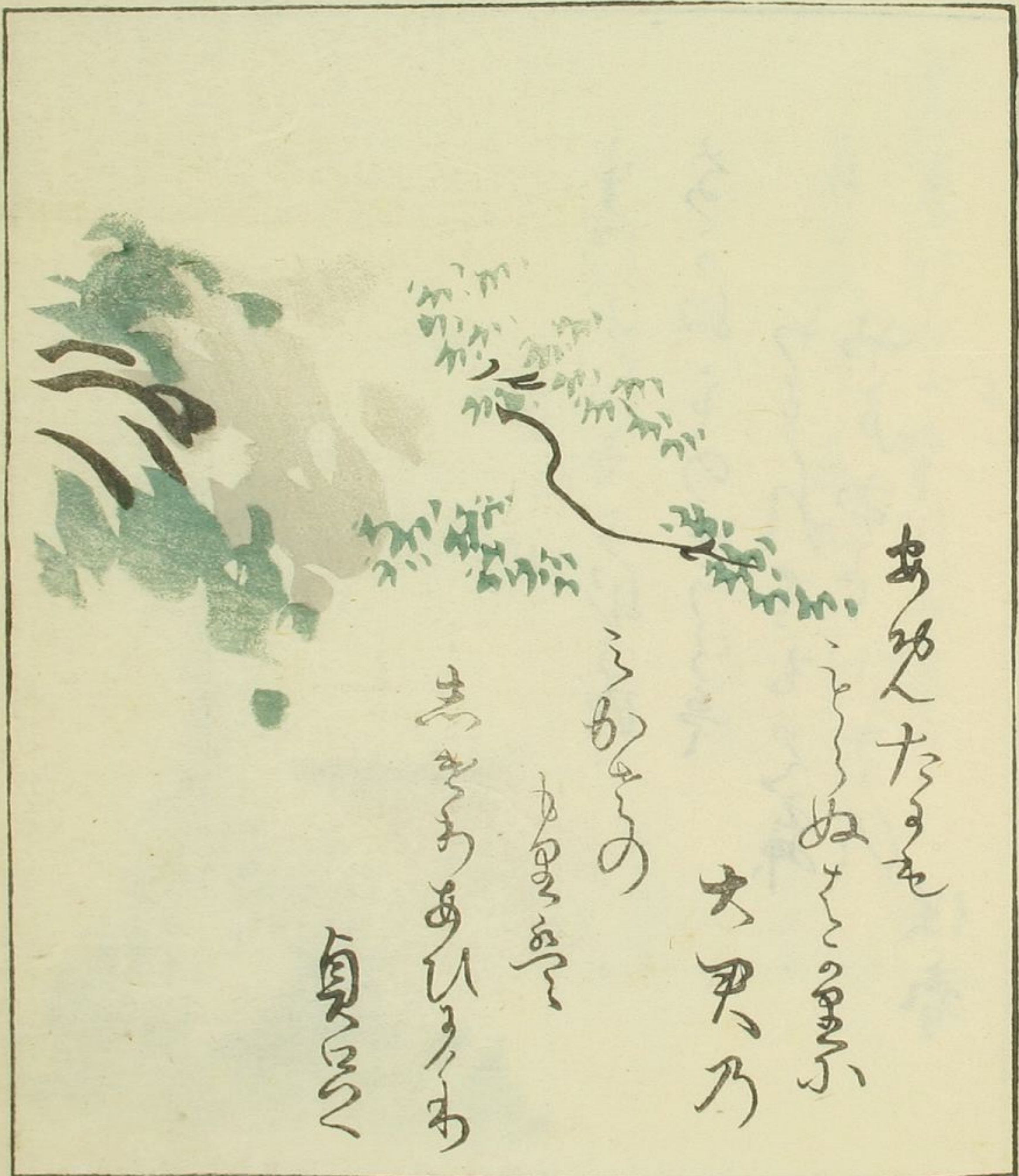
静けさ



ういせいの
 ちかきささ
 まちて ちかきささ
 谷ふもとを流すは、ささたかたの
 新



藤をよみかたふくもたれ
 ちかきささ
 春の鳥新毛
 ういせいの
 まちて
 為足



あゆみたるを

ぬきこころふ

大甲乃

いづれ

たのしみ

まきあひひくあ

自然

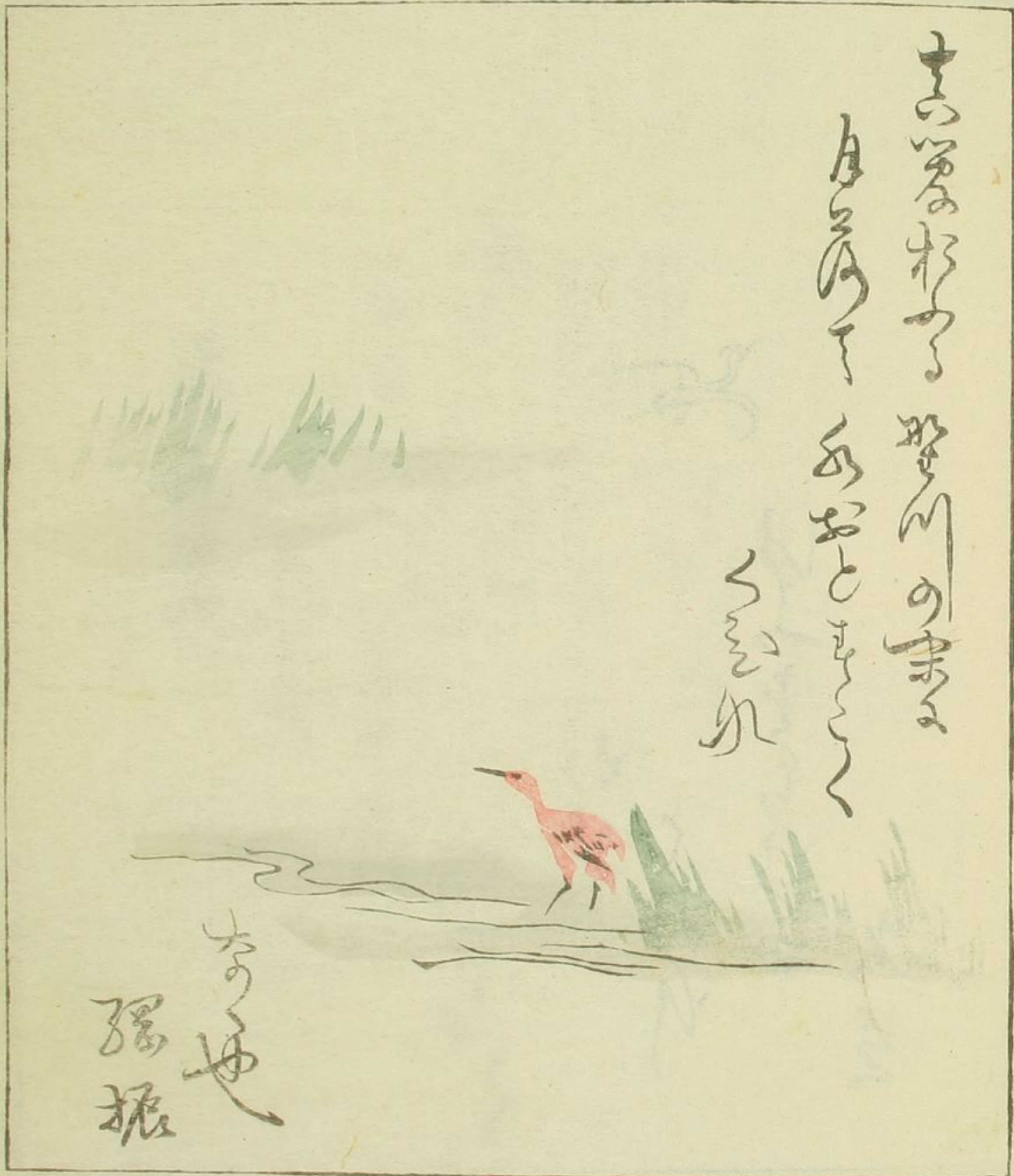


あやふくくくくく 直道

大空ふ阿ゆき雲

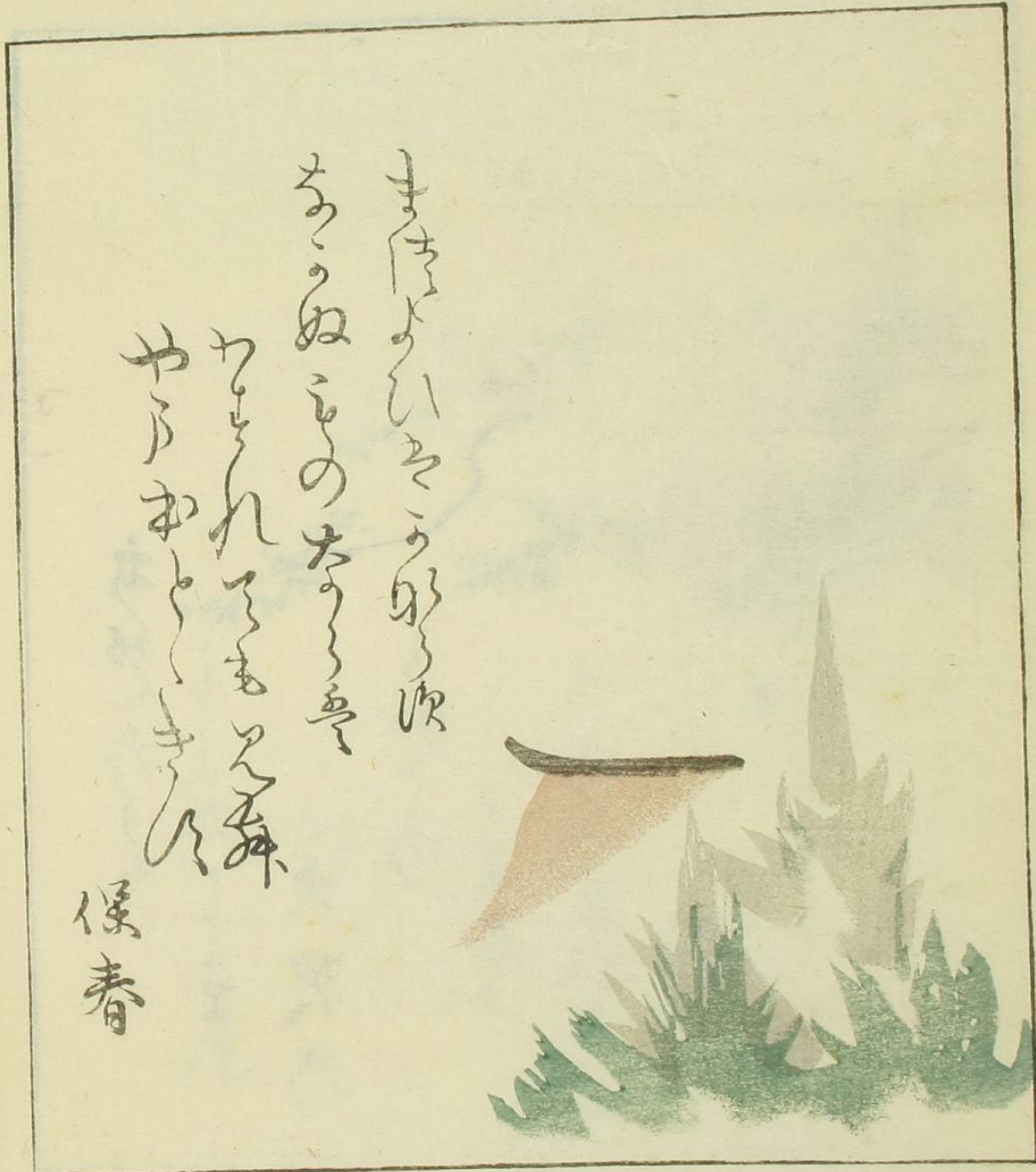
あやふくくくく

ふのきくく



十の鳥はさう
 白鳥のさう
 くのり

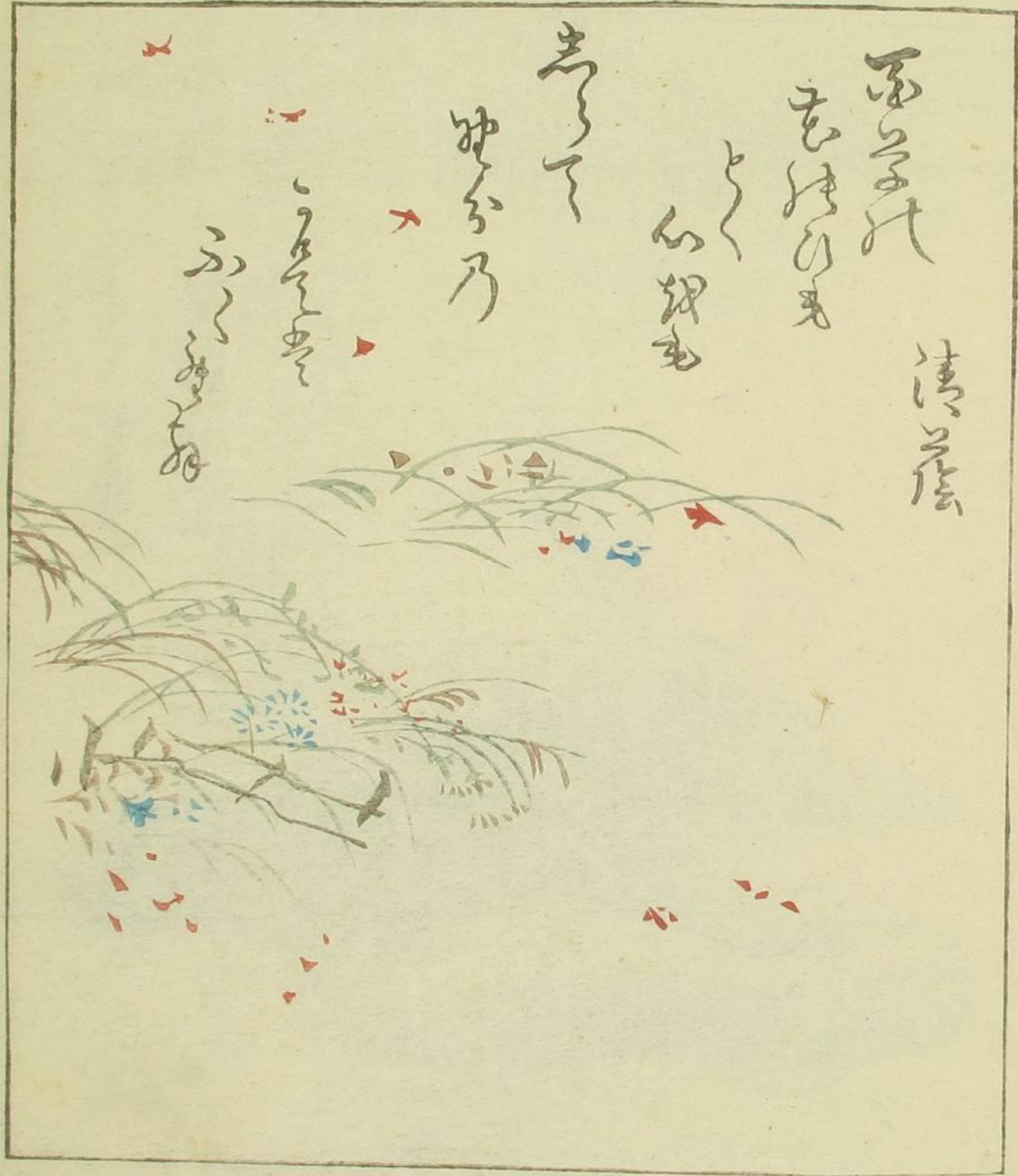
ちの
 強振



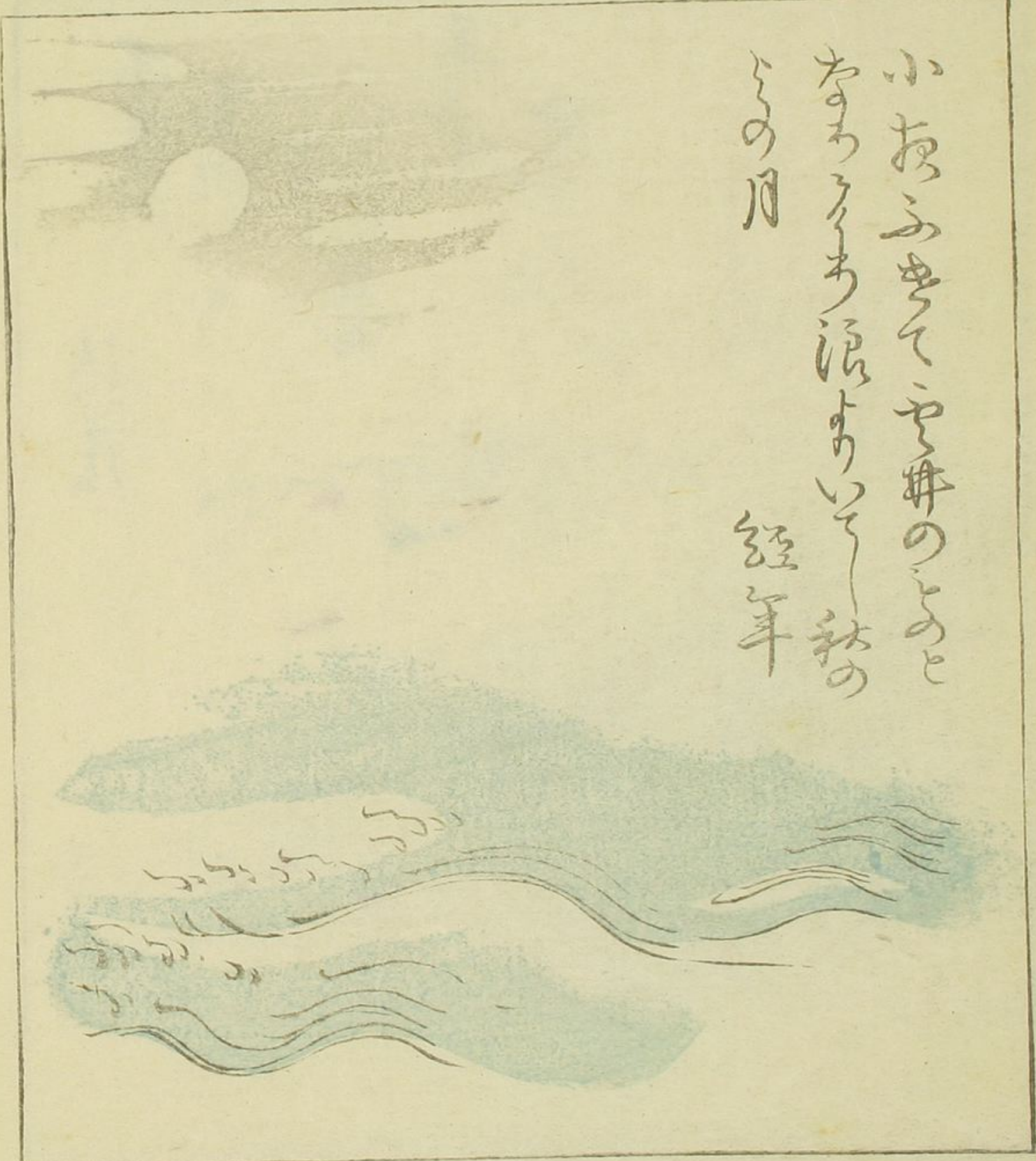
まはらけいさう
 ちのぬものさう
 かねれもさ
 かりおさう

候春





小あふきくや舟のよと
 ちちるち浪よりしづ秋の
 ころの月
 經年



吹ぬるはきかむおのあき風
 しづのけし浪やしづれを絶え舞

信無

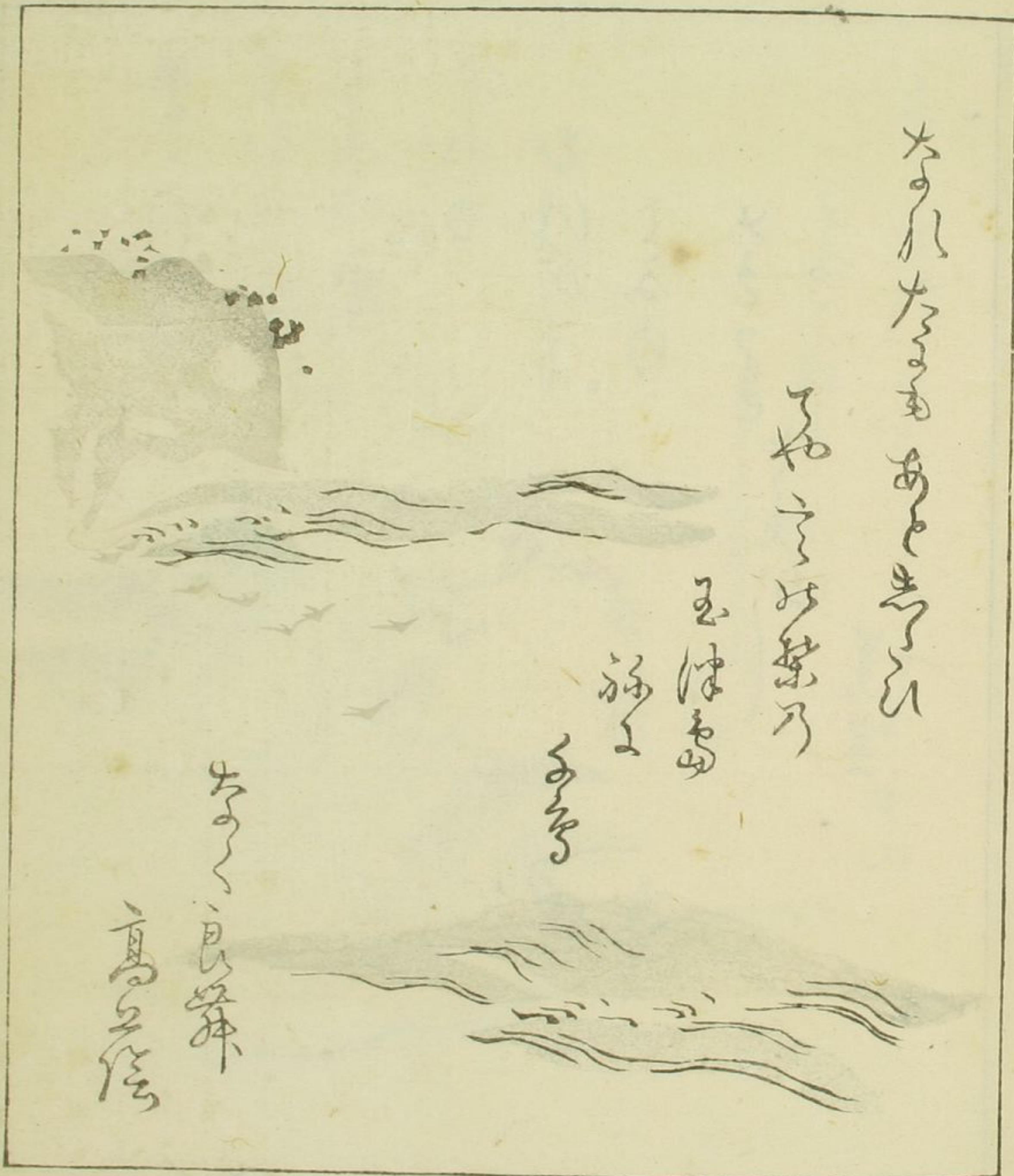




岩崎氏
 うらやまの
 山々
 岩崎氏
 福
 岩崎氏



岩崎氏
 うらやまの
 山々
 岩崎氏
 政保



たのしみたもあまのり

たのしみたもあまのり

玉はあ

海

あまのり

あまのり

あまのり



あまのり

あまのり

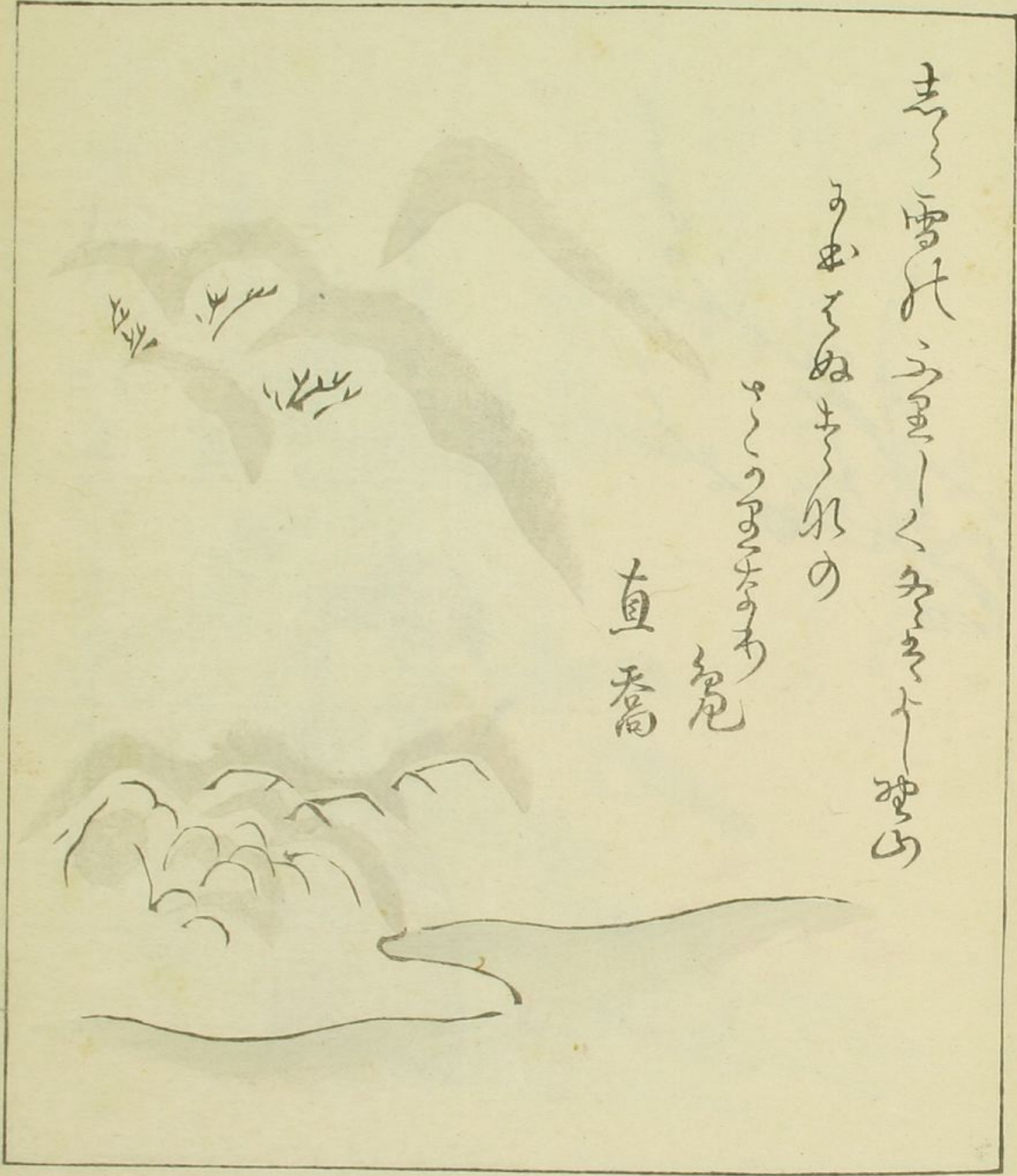
あまのり

あまのり

あまのり

あまのり

あまのり



山は雲に隠れし
 水は石を流す
 直喬

直喬
 天喬



春の川
 花の影
 水は清く
 石は白く

直喬

天喬



小川のさう海へは
 ほとほともたつた
 流ぬまの社
 あまのり

曲の則



小川のさう海へは
 ほとほともたつた
 流ぬまの社

あまのり

小川のさう海へは

ほとほともたつた

流ぬまの社

あまのり



三つ葉草

まつたけ草

たち

ふれ草

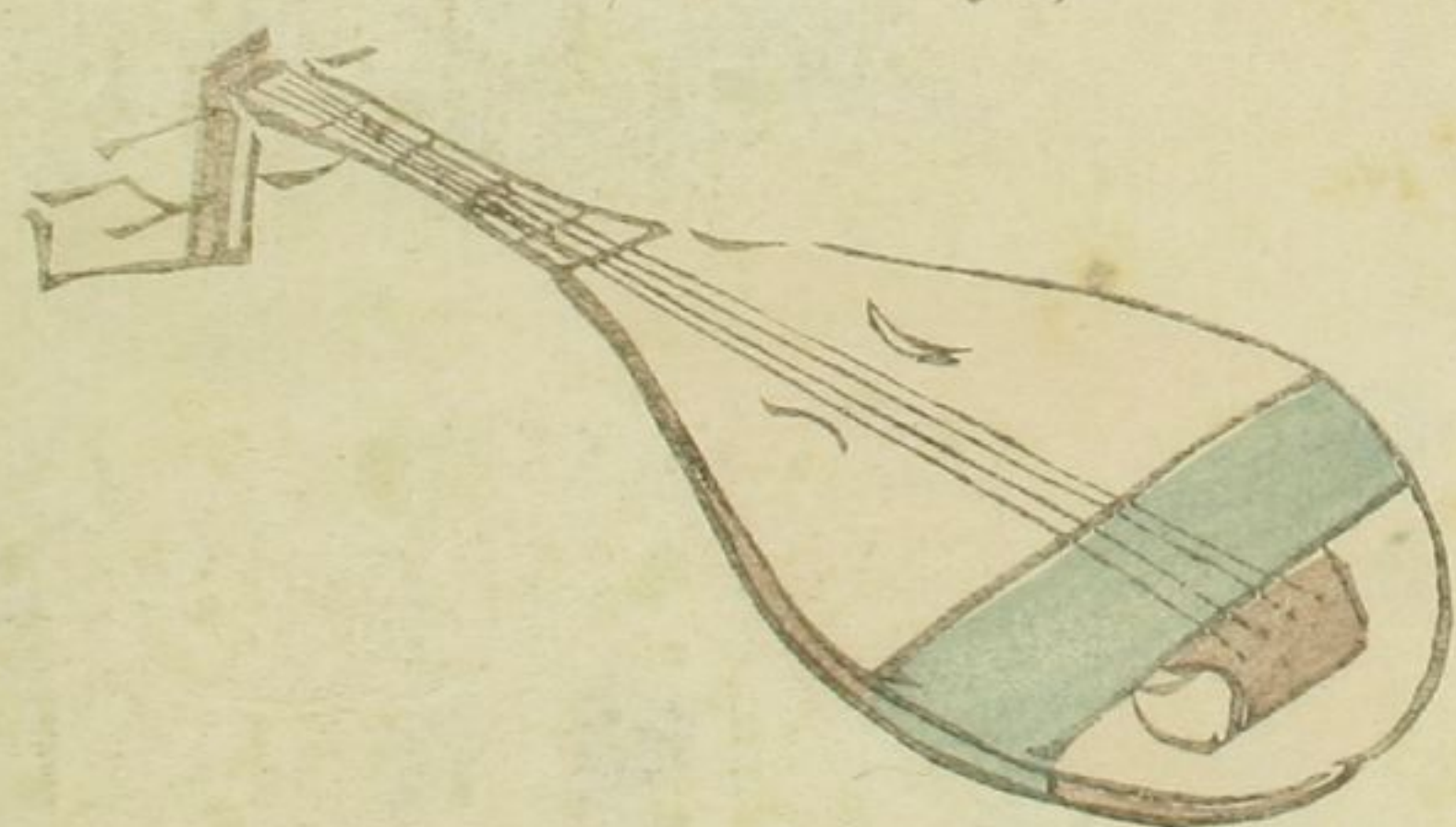
三つ葉草

神乃くさ草

時草



三つ葉草
 まつたけ草
 たち
 ふれ草
 三つ葉草
 神乃くさ草
 時草

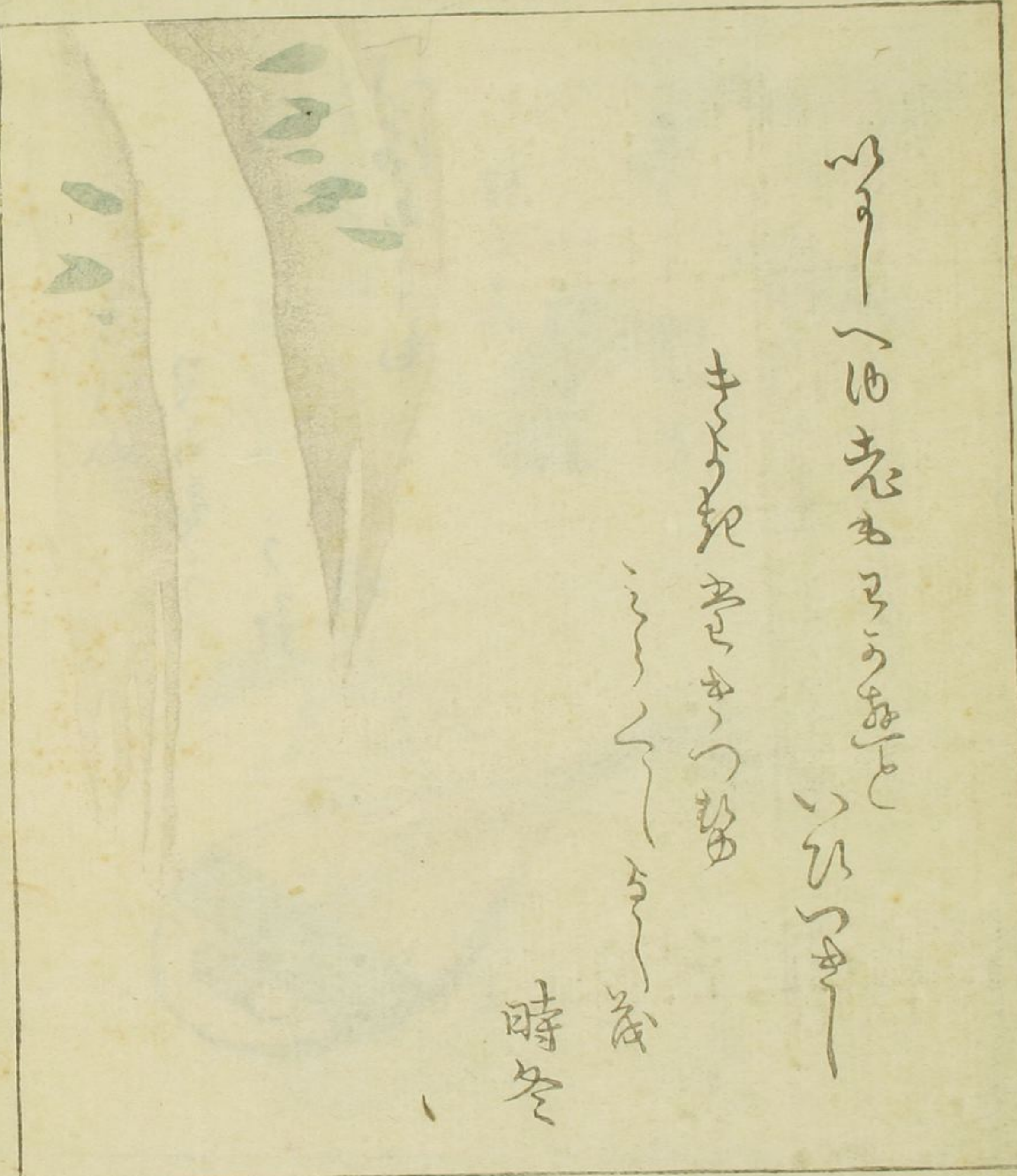


心一は老もろくおし
こひつか

まろくおしつか

~~~~~  
~~~~~

時冬



心一は老もろくおし
まろくおしつか



ちんま

~~~~~

~~~~~

有園



